

うちゅうせん新聞

広報係 2014年12月13日発行 2号

☆ 天文ボランティア会報 ☆

“例会”より

7月27日(土)14:00~16:00 出席者11名

会場: 仙台市天文台 学習室

新メンバー、宮本さんの紹介

7月末から8月の夏休みの期間に観望会の予定が多いためMLで募集を継続する。

8月24日(土)14:00~17:00 出席者9名

8月1日うちゅうせん新聞発行し、天文台に届けた9月例会後に「合宿」のように自主観望会を計画しているとのことで、場所、企画や弁当など皆さんから意見が出された。

9月27日(土) 14:00~16:00 出席者9名

観望会の報告と10月の観望会の予定、参加者確認 えばしスキー場観望会を5月から実施してきたが8月までは天候不良が多かったものの、9月は好天に恵まれ、中止は1回だけだった。

例会後に合宿のような自主観望会を泉ヶ岳の別なイベントに配慮し有志だけでの小規模開催とすることを報告。

10月18日(土) 14:00~16:00 出席者10名

えばしスキー場観望会の総括。24回実施、うちゅうせんスタッフ52名、参加者 約600名

(正確な回数等は全体会で確認ください)

土曜日に天文台でのサポート観望会開催や、12月の例会の日時、場所を選定し忘年会を行なうことを決定した。

3月全体会の日程決定: 3月21日(土)14:00~

場所は今後申し込み。

11月22日(土) 14:00~16:00 出席者7名

12月からの観望会予定は今のところなしです。珍しく船長留守での例会の話題は、4月から10月まで実施されたえばしスキー場以外に観望会依頼が激減したこと、参加賞に使用するうちゅうせんオリジナル缶バッチの製作に関して情報を募集中の件がありました。

また、11/29(土) 仙台市天文台で行うサポ観で月を案内するとき、月面の欠けぎわにできるアルファベットの「X」の地形「月面X」が見頃という話で盛り上がりました。

今年は5月から10月までの半年間、えばしスキー場の星空散歩を中心に活動をしてきました。えばし観望会のレポートは前号で紹介しましたので今号は他の話題を中心に掲載しました。

観望会より

サイエンスフェスティバル7月26日(土) 10:00~11:30 (うちゅうせん 3名、参加者 流し込み)

例年秋口に実施されていましたが、今年夏休みになって間もない実施で、今年はお昼まで終了と時間が短縮されました。今年で3回目の参加でしたが、何人か会場(音楽室)に入って来た都度、星座物語や天文のスライドをすることと、ベランダにブルーマットを敷き、太陽望遠鏡で黒点やプロミネンスを見て貰う内容でした。参加者の全体数は知るところに有りませんが、うちゅうせんの会場への来場者は不確かながら30名位だったのでしょうか? お天気に恵まれ太陽をお見せする事が出来たのは3年間で初めて・何より出来事でした。太陽の導入を真ん中ではなく端の方に寄せるとプロミネンスが見られる・これは西口さんの新発見(?)でしたが、これから役に立ちそうです。会場に来られた皆さんには参加賞として、仙台市天文台提供の「ソラリスト」と「天体写真」をお持ち帰り頂きました。未来を担う子供たちに科学の面白さ・大事さを知ってもらいたい機会と思いますので、来年以降も参加して行きたいと思った次第です。

★天文の話題(10月8日月食) 2014/10/13(投稿) 欠ける前と欠け具合により、明るさはかなり違って来ますが皆既になってからの暗さは半端では有りませんで、肉眼では赤い色を認識するのも大変な位でした。シャッタースピードだけでは無理な為、ISO感度も大きく変更しています。

ISO感度の差で3段分ですが、満月時の1/125秒と皆既最大時の4秒では9段 併せて12段の差ですから、人間の目では両方を認識するのは至難です

水の森橋のたもとで撮影しながら、高台に集まった皆さんにも見て頂くべく観測用の双眼望遠鏡を準備、多くの方々に楽しんで貰うことが出来ました。解説付きの観望会状態でした(笑)

北六番町小学校観望会 セタライト・イベント~伊達武将隊と星空を見上げよう☆ 8月25日(日) 18:30~20:30 (うちゅうせん5名、参加者170名) 晴天 仙台市環境局都市推進課がメインとなり「せんだいE-Action実行委員会」主催の催に一昨年から参加しているものです。

伊達武将隊の3人が開催の趣旨説明で先陣を切ってくれました。伊達武将隊目当ての来場者も少なからず有った様ですよ(笑)

”うちゅうせん”にバトンタッチされてからは挨拶と自己紹介・今夜の星空説明・星座物語は伝統的七夕を間近にしている事から「七夕物語」・「光害について」と一気に進んだ頃にも外も大分暗くなって来ました。望遠鏡が6台並んでいることと併せ、お約束の望遠鏡を覗く時の注意点を説明し、室外に出て貰いましたが、人数が人数ですから全員が出るまでには結構な時間が掛かりました。土星・火星・アルビレオを6台の望遠鏡で楽しんで貰いましたが、土星を初めて観る方が多かったようで、子供・大人の区別なく「見えた!」「ワッ!」「すごい!」「きれい!」などの声があちこちから聞こえて来ました。大勢の方に喜んでもらえるこちらも嬉しくなっています。会場となった、北六小学校さんのご協力に感謝!です。

青葉城址観望会(セタナイト) 8月6日(水) 19:30~ (うちゅうせん6名、参加者多数(不明)) 雨天

伊達武将隊が中心になり、長野県上田・米沢・白石からの武将隊を交え、伊達政宗の騎馬像付近での演舞をする催しの第二部として、望遠鏡で土星・月をお見せする段取りでしたが、予報通りの曇り空、後半は雨で降ってくる始末で、星はかけらも観ることが出来ませんでした。

口径6cmの双眼望遠鏡をもってしても、皆既時の色の認識はかなり難しかったようでした。赤道儀の設置をかなりラフにした報いで、月が時間と共に移動するので難儀しました。(永井)



皆さんは準備していた望遠鏡でしかたなく仙台市街地などをお見せしていたようでした。

その中で、最悪の雨降りを想定し、プロジェクターで投写する場所を探しました。割と暗い場所で屋根付きでチョット大きめの東屋風? に場所を設定、スクリーンにする白布を設置してもらった所で、「七夕物語」と光害の話や夏の星座の話をしました。

終了間際には予報通りのかなり強い雨が振り、日中から物凄い暑さだったんですが、雨の後涼しくなりました。お天気のせいだったと思いますが、参加人数は昨年を下回っていました。それでも武将隊目当てと思われる参加者の多いことには驚かされます。

木町通市民センタ観望会 8月8日(金) 18:30~20:00 (うちゅうせん4名、参加者12名) 雨天

「悪天候の中ようこそいらっしゃいました」が挨拶の第一声(笑) 小さいお子さんが多かったことも有り、自己紹介の後、星座早見盤のワークで開始し、8月の星座の説明星座物語は「オリオンとサソリ」と続き、その後久々ぶりの星座ビンゴを楽しんでもらいました。

2つ目でリーチの4年生がいた一方、一周りしても一個も出てこず、泣き出しそうな1年生がいたり…ビンゴ賞は誕生星座カードを5名まで・の予定でしたが、7名まで追加、結局は全員にカードを差し上げる事にしました。

その後、映像・動画を見てもらいながらオーロラの話、盛り沢山な内容でしたので開始から終了まで、あっという間だった気がしました。

時間オーバーになった質問コーナーでは一つの質問が出ただけ。最後に参加賞として、天体シールと天体写真を選んで頂いての散会となりました。

事務所でお茶を頂きながら、アンケートを見せてもらいましたが、結構楽しんで頂けたらしい事が判り嬉しい限りでした。星が見られる状況でやりたいですね!「また呼んで下さい」がお別れの挨拶でした。



うちゅうせん合宿もどき【スキルアップ観望会】
9月27日(水) 19:00~23:00 (うちゅうせん3名)
満天の星空の下こじんまり開催出来ました☆

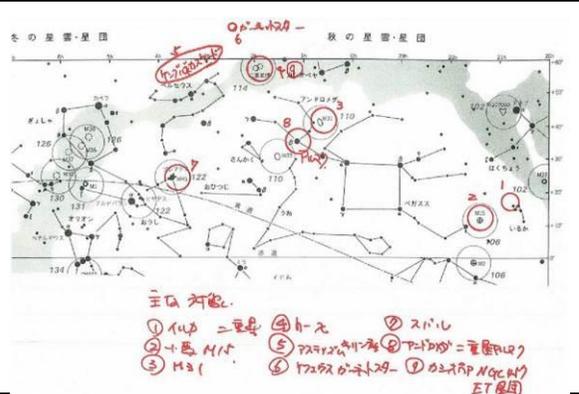
19時頃よりカモシカコース駐車場にて。
20時過ぎ雲ひとつない星空になり当初予定して
た対象①ケンブルズカスケード②h-x ③M31 ④
M15 ⑤NGC457 ⑥アルマク⑦イルカ座二星⑧ガー
ネットスター ⑨M45 総て確認出来ました。

他に M27 リュウ座リトルカシオペヤ CR399
M36.37.38 天の川・・・etc 堪能♪

渡辺さんの秘密兵器〈本人に聞いて下さい〉の
おかげでレアな対象も楽しめ最高でした。23時寒
くなってきて終了(11℃)次回もここでと打合せ。

・暖かいコーヒーが飲めてカップラーメンが食べ
れる…つまりお湯携帯コンロ

・あと…毛布(防寒対策ではありません)
次回、気まぐれに開催したいと思います。



えぼしスキー場の感想 9月27日(土) S.W
彼岸明けの行楽日和のためか、47名の参加とのこと
で、うちゅうせんのスタッフを1名増の3名で対応し
ました。日中好天でしたが、夕方気温が下がること
で雲が湧きゴンドラで中腹まで上がると霧の中で
街の灯りも見えなくなってしまいました。
星も見れそうにない中、今月の星空を説明した段階
で、外へ出ると天頂に夏の大三角が・・・見え出し
しばらくすると雲がすっかり消えて快晴になって
いました。
天の川も見え、説明しながら望遠鏡をセットしアル
ビレオを見ていただきました。
そのうち、また霧に覆われ見えなくなったり見え
たりする秋の気まぐれな天気にも翻弄されましたが
あきらめかけていた参加者の皆さんにとっては、つ
かの間の快晴こそ、ありがたさを感じられた満足度
の高い観望会であったとの感想が聞かれました。
山の天気はわからないものですね。

★ 星の雑談箱

望遠鏡あそび (遠藤)

何年か前 カタログブックで交換するような望遠鏡
を大量に購入しました。目的は、観望会等にきた子供
で望遠鏡を手に入ればますます天文に興味を持ちそ
うな子にプレゼントするためです。
その望遠鏡の性能は良くなかったので、改良に挑戦し
てみました。

まず、プラスチックの対物レンズから、双眼鏡の4cm
レンズに交換。鏡筒内絞りが小さく、口径を絞って
いたので撤去。ドロチューブも口径を絞っていたので
切断。焦点距離が短くなった分、鏡筒も切断しまし
た。これだけの作業で新しい望遠鏡に生まれ変わ
りました。

もともとは「おもちゃ望遠鏡」でしたが、月のクレー
ターは良く見え、スバルは視野いっぱい、M42も蝶
が羽を広げた姿に見えます。天プリ付なので正立像
(裏像)です。地上を見るのにも違和感がありません。
しかも3m位までピントが合います。まさに天地両用
です。

さっそく観望会に来た親子にプレゼントしたところ
大喜びされました。

接眼レンズは12倍、18倍、24倍の3個付きです。こ
れもどうかすれば完璧なのですが、課題ですね。
対物レンズが残っているのであと1台作ります。

だれか一緒に作りませんか？



星空の思い出 (中村)

学生時代に興味を持って星空を眺めていたのだけ
れど、天文とは関係ない仕事に就いたので、最近まで
星空をゆっくり眺める機会はありませんでした。

その中で、記憶に残っているものがいくつかありま
すので述べてみます。

就職してしばらく経った20代の頃、紀伊半島の山
中でダム調査工場の仕事をしていました。12月31日
の夜中まで仕事をしてようやく終り、仲間と見上げた
冬の夜空のきれいなこと。山の中で町の明かりもなく
、仕事が終わった開放感もあり、すばらしくきれい
でした。旅館に帰る途中、年が明けたのでお互いに新年
の挨拶を交わしました。

また、40代のころ、南十字星を観ようと思い、休
暇も取れたので、香港経由でシンガポールへ行きました。
急に思い立って行ったので、星見スポットなど全然
わからず、ホテルの庭の暗がりから南十字星を眺め
ただけでした。南十字星は、北十字と違って十字のマ
ークの中心の星がないのだからとただ単純に関心し
て帰ってきました。

また最近(と言ってももう10年以上前になりました
が)2001年に獅子座流星群が極大期を迎えました。
当時、天文現象には直接無関係な私としても、新聞や
マスコミ報道からこれは是非観てみようと思い、11
月18日の朝、庭から星空を見上げました。

予想外にたくさんの流星が飛び、見たこともない流
星雨状態です。本当に感動・びっくりして朝がきて明
るくなるまで空を見上げていました。うっかりして写
真で撮るのを忘れてしまいました。

就職して仕事が忙しく、天文事象を見る余裕もなく
過ごしてきました。少し自由時間が取れる余裕もでき
たので、自分の体調にあったボランティア活動を続け
ていきたいと思っています。

☆ 来年(2015)の天文現象

- 2015年1月4日:しぶんぎ座流星群(短時間)
- 2015年3月5日:今年最小の満月(距離1.057)
- 2015年4月4日:月の出後の東の空で皆既月食
- 2015年7月2日/31日:ブルームーン(月2回の満月)
- 2015年9月28日:スーパームーン(月が最近(0.932))
- 2015年12月15日:ふたご座流星群が好条件

編集後記

◆ はやぶさ2号の打ち上げが2度伸びたことが、
更に盛り上がる要因となったように思える打上げ成
功でした。前回ははやぶさの感動が映画が2本も作
られる感動を呼び、各地で実物の展示会が行われる
と長蛇の列(私も見ました)、奇跡の物語は感動を
呼びますが、科学の面からはコントロールされたド
ラマの少ない安全飛行を望んでいるはず。一過
性のブームに終わらずみんなで飛行を見守りたいも
のです。(辺)

◆ 種子島へ行って、はやぶさ2の打ち上げを直接見
ました。今回は当初、宿泊、レンタカー、フェリーも
直ぐに予約一杯となり、当日も大混雑になると予想
されました。打ち上げが3日延期になって、見学者も
予想より減り、比較的落ち着いて見る事ができまし
た。種子島では案内や車に乗せてもらったりと島の
皆さんに大いに御世話になりました。(今)

☞ 今年も早残すところ…。仕事が変わって、観望会
&例会ともあまり参加できずでしたが、次年度はも
っと活動に参加したいですね。観望のみならず天体
撮影にももっと取り組みたいです。(♪ (辺2)

♥ 今年は2冊の星本を入手しましたのでご紹介い
たします。まずは「プラネタリアム解説者に教わる
よくわかる星空案内」木村直人著と「宙富士」森光
伸著です。よくわかる星空案内は、元・五島プラネ
タリアム解説員ということもあり観望会ネタで役に
立つ一冊。宙富士は夜の富士山と星空を撮った写真
集です。その中には古事記に描かれた神話の世界か
ら太宰治の富嶽百景までを富士山、月、星の美しい
写真と共に神話や文学を盛り込んだすごい一冊で
す。どちらも貸し出し可です。(伊)

☞ 12月10日で、入籍1か月目を迎えました。
新居に越してからはまもなく一月。
まだ、部屋の一つが荷物部屋になっております(笑)
今年の年末は、沖縄旅行に行ってきます。
どうやら念願のカノープス様のご尊顔を拝めそう
です。
もちろん天気と自分の天文力(?)したいですが…
只今、冬の星座の本で勉強中です。
見つけられるかなあ…
P.S. 石垣さん、毎年お誘い下さり有難うございます。
懲りずに、また誘って下さいね。(椿)